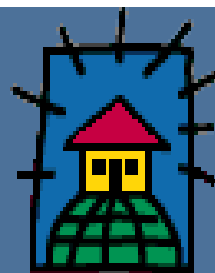


HABITAT FOR HUMANITY INTERNATIONAL'S

Global Village Program



オリエンテーションハンドブック



〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-13-11 CHARI 千駄ヶ谷 401

Tel: 03-6459-2070

Fax: 03-6459-2071

E-mail: info@habitatjp.org Web site: www.habitatjp.org



2009年5月修正

Habitat for Humanity

VISION

A world where everybody has
a decent place to live.

誰もがきちんとした場所で暮らせる世界

Habitat for Humanity

MISSION Statement

ハビタット・フォー・ヒューマニティは、世界中のいたるところ、
様々な背景をもつ人々とパートナーとなり、住居の建築や修繕を
行って、支援を必要とする人のいる地域社会の発展に努めます。
そうすることにより、その地域が発展し、人々はきちんとした家
をもち、そこで全ての人が人類愛を感じ、いい人生を歩み、成長
することができるのです。

1. 参加者としての心構え

ハビタット・フォー・ヒューマニティのグローバルヴィレッジに関心をお寄せくださり、ありがとうございます。下記の点につきましてご理解いただいた上でのご参加をお願いいたします。

1. ハビタット・フォー・ヒューマニティは旅行会社ではありません。参加者の皆さんとハビタットは対等なパートナーシップに基づき、協力してそれぞれの役割や責任を果たしながら、グローバルヴィレッジをつくりあげていきます。
2. グローバルヴィレッジは、「誰もがきちんとした住居を持てる世界を目指す」というハビタットのビジョンに基づいてつくられ、ハビタットの理念にしたがって運営されています。このプログラムに参加するということは、ハビタットのビジョンや理念を尊重し、受け入れることを意味します。
3. グローバルヴィレッジではチームリーダーもしくは渉外担当者が日本側コーディネーターや現地のコーディネーターとやりとりしながら準備を進めていきます。受け入れ先のニーズや状況と皆さんの要望とのバランスをとりながら行われますので、希望が叶わない場合もあります。
4. チームからの連絡には必ず目を通し、提出物などの締切りは厳守してください。
5. 物事をチームリーダー任せにせず、むしろチームリーダーをサポートするようにしてください。

2. グローバルヴィレッジ(GV)とは？

世界中にあるハビタットのネットワークを活用した7～10日間の海外建築ボランティアプログラムです。

グローバルヴィレッジの特徴

あせをかいて世界を知る

グローバルヴィレッジでは、現地のパートナーと力を合わせて家を建てます。あせをかきながら、彼らの暮らしを知り、文化を知り、笑顔を知り、そして貧困の現実を知ります。

しあわせを建てる

参加者が建てるのは家以上のものです。現地のパートナーは新しい住居で、希望に満ちた家族とともに新しい生活をはじめ、貧困から抜け出していきます。

たすけて、たすけられる

参加者の多くは「助けてあげる」つもりで参加します。しかしほとんどの人は、助けつつも助けられ、自分が差し出した以上のものを受取って日本に帰ってきます。

みんなで変わる

現地のパートナーやそのコミュニティに住むひとたちは、参加者と一緒にはたらしながら、自分たちが助けてもらうだけの存在ではないことを思い出し、人を助けることの意味を知ります。そうしてコミュニティ自体が変わっていくのです。また参加者のほうも、自分が行動を起こすことの価値を知り、新しい一歩を踏み出していきます。

GV チームの3つの目標

1. Raising Walls

受入国でセメントをこね、ブロックを運び、ドアを取り付け、そして家の壁を積み上げてください。

2. Raising Awareness

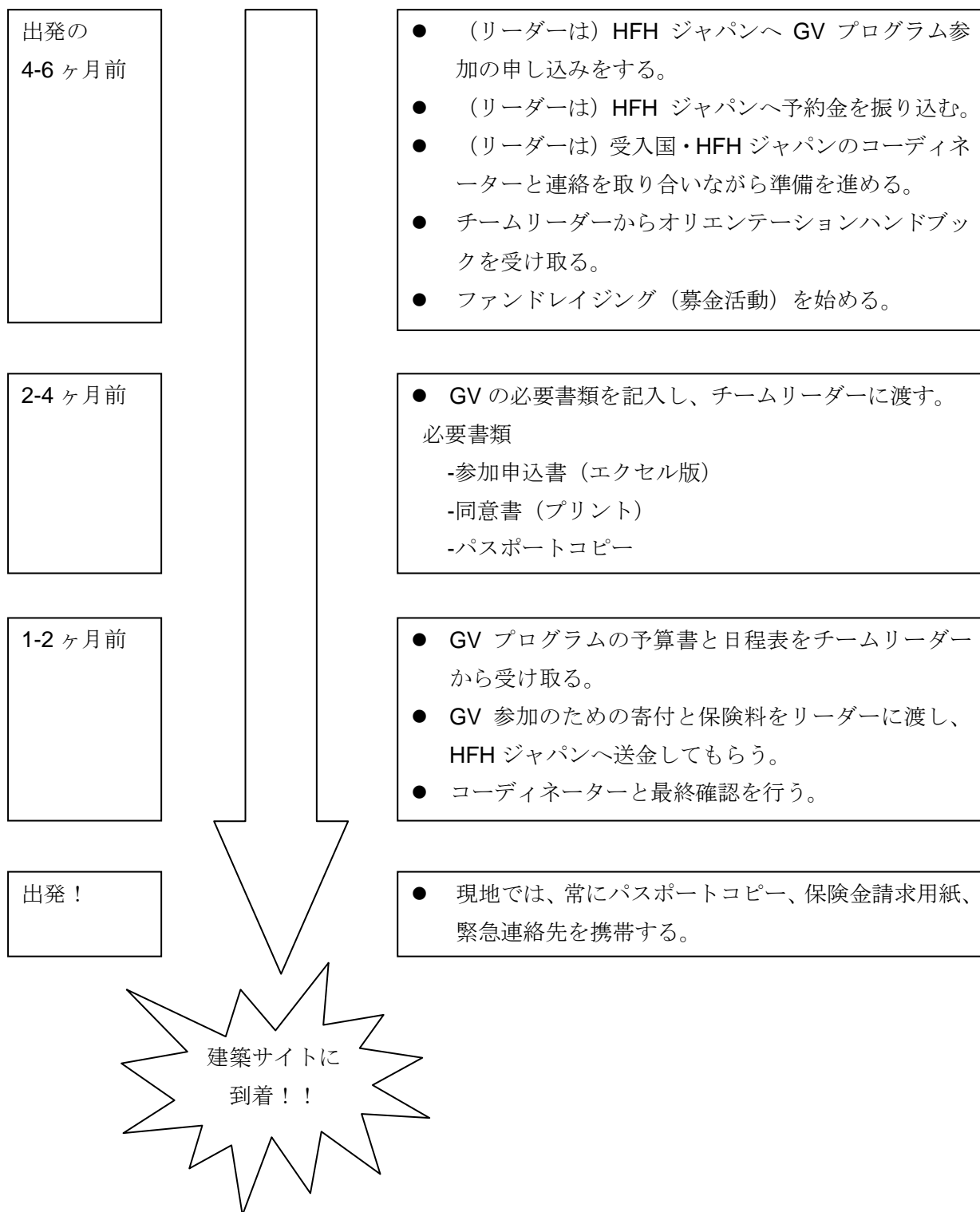
ハビタットや訪問国の貧困住宅の話をしてください。そして、あなたの周りの人々の良心の意識を高めてください。

3. Raising Funds

貧困住居をなくすというハビタットのビジョンを実践するためには、家の建築資金が必要です。

3. GVのタイムライン

チームリーダー、チームメンバー、相手国コーディネーター、HFH ジャパンのコーディネーターが協力して準備を進めます。以下は主な準備や手続きをチャートにしたものです。



4. まずメンバー各自で確認していただきたいこと

1. 滞在予定国の渡航情報、安全情報、健康管理情報をチェックされていますか。リーダー任せにせず、必ず自分自身で確認し、リスクについて十分理解した上でご参加ください。また未成年の方はかならず保護者の方にも上記のことをご理解いただいております。
2. パスポートの有効期間が、GV を終えて滞在国を出国する予定の日から数えて6ヶ月以上残っているかどうか確認してください。6ヶ月未満の場合、入国できない場合があります。
3. 必要な査証（ビザ）についても各自で確認するようにしてください。
4. かかりつけの医師に、あなたの現在の健康状態や訪問国での健康管理について相談してください。

提出書類について

●次の書類に必要事項を記入し、チームリーダーに渡してください。

(各書類はチームリーダーから配布されます。)

◇ 参加申込書（エクセル版）

◇ 同意書（プリント）

◇ パスポートコピー(写真とパスポート番号が記載されているページ)

●チームリーダーは、上記の書類を HFH ジャパンへ送付してください。参加申込書（エクセル版）はメールで、同意書（原本）とパスポートコピーは下記の住所へ郵送してください。

〒151-0051

東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-13-11 CHARI 千駄ヶ谷 401

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン

(担当コーディネーターの氏名) 宛

※リーダーは必ず控えとして書類一式のコピーをとり、保管しておいてください
(書類の一部は GV 期間中も携行していただくことになります)。

5. 費用について

(1) 全体的な費用

GV への参加にあたりましては、航空券、現地滞在費（食費、宿泊費、交通費、レクリエーション費など）、保険料、GV 参加費などをご負担いただきます。

航空券はチームで手配してください。

現地滞在費は現金で現地に持参していただきます（マレーシアの場合は事前に HFH ジャパンを通して送金します）。現地滞在費がいくらかかるかについてはチームの活動プランによって異なり、事前にチームリーダーと受入国コーディネーターが予算表を作成して皆さんに配布します。

保険料（1日 350 円）と GV 参加のための寄付については、まず HFH ジャパンに送金していただき、HFH ジャパンから海外に送金します。

(2) プログラム参加費

建築資材を購入する費用や GV 実施のために発生する事務管理費用などをカバーするため、GV 参加者には一定額以上の参加費をいただいております。受入国や参加者の属性（学生、社会人など）によって額は異なりますので、チームリーダーにご確認ください。

いただいた参加費の 14-20% は HFH ジャパンで発生する事務管理費用を補填するために使わせていただきます。残りの参加費は受入国に送られます。

国によって多少差はありますが、送金されたもののうち約 70% はチームを受け入れるアフィリエイトに送られ、事務管理にかかった費用を差し引いた額が、建築のための資金としてプールされます。約 20% は受入国のナショナルオフィスで GV に関する費用をまかなうための資金としてプールされます。残りの 10% は本部に送られ、支援が必要なところに送られます（被災者のための住宅建設支援など）。

(3) ファンドレイジング

資金集めの方法については、各チームに任せられています。しかし、ハビタットは、少なくともその一部は募金活動を通して資金を集めていただくことを奨励しています。なぜなら、チームが募金活動を行うことで、多くの人々に寄付の依頼をするだけでなく、その国の状況や貧困住宅に関する認識を高めてもらうことができるからです。

例えばある人がチームの一員としてインドに行き、単純に個人として自分の金を寄付したら、個人的な経験に終始してしまいます。しかし周りに働きかけることで、より多くの人々がインドの貧困住居に住む人々のことを考えたり、助けたりする機会を持つことができるのです。

チームメンバーでこのような活動を行うことにより、チームは、家を建て、資金を集め、貧困住宅について知ってもらうという、GV プログラムにおけるチームの目標を達成することになります。

具体的なファンレイジング案としては、例えば地域の企業やロータリークラブなどの支援を得たり、パーティやスポーツなどのイベントをおこなったり、バザーやベイクセールなどを開いたりといったことが挙げられます。

募金活動はメンバー全員で楽しんで行いましょう。また募金活動を始める前にブレインストーミングや周到な計画を行うことは、募金活動を成功させるための重要な要素となります。HFH ジャパンは募金活動のための資料を用意しております。必要な方は、チームリーダーを通して依頼してください。

6. 渡航の準備

(1)査証(ビザ)の取得

各国査証(ビザ)申請のためには、第一に有効なパスポートが必要となります。
詳細については、在日各国大使館/領事館かお取引のある旅行会社にお問い合わせください。
在日各国大使館のウェブサイトでも査証(ビザ)取得の情報を得ることができます。
各国大使館データベース：

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/link/embassy/index.html> (日本語)

<http://www.helplinedatabase.com/embassy-database/> (英語)

<http://www.embassy-avenue.jp/index-e.htm> (英語)

(2)留意していただきたいこと

天候

現地の天候を調べて準備をするようにしてください。

文化

受入国の文化について調べ、理解を深めておいてください。そうすることによって現地でよりよい関係を築くことができます。また現地では日本について聞かれる機会も多くありますので、英語や現地の言葉で説明できるようにしておくことをお勧めします。

言語

英語だけでなく、現地の言葉を覚えていくようにしてください。また現地ではリーダーだけではなくメンバーも英語で簡単なスピーチを求められますので、準備をしていかれることをお勧めします。

食事

現地ではその土地の方が食べているものと同様の食事をしていただきます。アレルギーなどで制限がある方はかならず申し込みフォームにその旨を記入してください。

海外旅行保険

病気や怪我はハビタットが掛ける保険でカバーできますが、荷物の盗難や航空機の遅延による損害は対象外です。海外旅行保険に加入されることを強くお勧めします。HFH ジャパンのほうでご案内することもできますので、その場合は別途ご連絡ください。

(3)家族にお渡しいただきたいもの

フライトスケジュール、現地での日程表、現地コーディネーターやホテルの連絡先、
ハビタット・ジャパン事務局と担当コーディネーターの連絡先は必ずお渡しください

(4)現地へ持っていくもの(パッキングリスト)

現金・トラベラーズチェック

現金、トラベラーズチェック、クレジットカード、海外で使える ATM カードなど、いくつかの手段を用意していかれることをお勧めします。なお換金した際の控えは保管するようにしてください。

ハンドブックと必要書類

このハンドブックとともに、パスポートコピー、保険金請求用紙(このハンドブックの 19-20 ページ)はご持参ください。

衣料品

ワークサイトにおいて:

- 爪先の閉じている丈夫な靴
サンダルや爪先の開いている靴は重い物が落下した時に危険ですので、避けてください。
- ゆったりした着やすい服:
 - *Tシャツ/シャツ
 - *丈夫な長ズボン
 - *すり傷、切り傷、かすり傷、および日焼けなどを避けるため、半ズボンはお勧めしません。
- 厚手の綿ソックス
- 日差しから顔を守るための広いつばの帽子
- 丈夫なワーク用手袋(軍手など)
- レインコート

その他の衣料品に関する提案:

- 公式の場に行く可能性もありますので、男性はカジュアルなシャツと長ズボン、女性はワンピース、ブラウスとスカート/長ズボンを用意して下さい。肌が露わになるような衣服は避けて下さい。
- 水着
- 旅行、観光用の履きやすい靴、サンダル、またシャワー、ビーチ用のゴム草履
- トレーナーまたはセーター(空港やホテル、バスなどは冷房がききすぎていることがあります)

化粧品類、洗面用具など

強い日差しに対処するために、ボランティアの皆さんには、それぞれ十分な日焼け止めローションを持参し、また使用されることをお勧めします。

- ◇ 日焼け止めローション (SPF 30 以上)
- ◇ バスタオルとフェイスタオル
- ◇ 石鹸、シャンプー、歯磨き粉
- ◇ 虫除けスプレー
- ◇ ハンドローション、アルコール
- ◇ トイレットペーパー

医薬品:

- ◇ 常備薬(下痢止め、胃腸薬など)
*持病などで服用が必要な薬は余分に携帯し、処方箋のコピーもお持ちください。
- ◇ 絆創膏などが入った簡易な救急セット
- ◇ 脱水症を防ぐためのソルトタブレット、食塩、もしくはポカリスエットなどの粉末(多量の汗をかくと水分とともに塩分が失われます)
- ◇ 眼鏡、コンタクトレンズのスペア

他に役立つ物:

- ◇ 折りたたみ傘
- ◇ サングラス
- ◇ カメラ
- ◇ 懐中電灯と電池
- ◇ 目覚まし時計
- ◇ 水筒
- ◇ 電圧変換機とアダプタープラグ。
- ◇ 家族の写真
- ◇ 楽器
- ◇ スケッチブックと絵の具やクレヨン
- ◇ 辞書

7. 建築作業の安全性について

GV では建築技術の有無に関わらず、誰でも住宅建築活動に参加していただけます。セメントをこねたり、流し込んだり、あるいは砂を運ぶなど、建築現場にはあなたにできる仕事があります。建築現場では、現地アフィリエートの提示する規則を必ず守ってください。それにより、建築現場で作業する全ての人たちの安全を確保することができます。建築現場での規則、現場作業手順を含む説明は、初日の作業開始前に行われます。建築現場であるかないかに関わらず、GV の全日程に適用される安全についてのガイドラインは以下の通りです。

- まず考えてから、作業に取りかかる。
- 失敗や怪我を防ぐために、仕事に集中する。
- 救急箱がどこにあるのか、何が入っているのかを事前に確認しておく。
- 最も近い病院、医療センターの場所を確認しておく。
- 過度に疲れてしまう前に、休憩をとる。
- 日焼け止めで皮膚を守り、紫外線を防ぐ服装をする。
- 脱水症状を防ぐために、十分な水分補給をする。
- 電動機具、工具、はしご、足場などを、毎朝、作業前に点検する。
- 安全性に問題のある状況、事故などはすぐに現場監督に報告する。
- 毎日作業終了時に、使用した道具、工具などを元の場所に戻す。
- 翌日の作業に備えて、心と体に十分なエネルギーを補給するため、十分な睡眠をとる。
- 怪我や事故、体調不良などの場合は、直ちにチームリーダーへ報告する。

8. 現地での諸注意

ハビタットでボランティア活動をしていただく間、文化や宗教、経済的な背景の異なった人々と共に活動することになります。それは、自分のチームメンバーから始まり訪問先の地域にまで至ります。また、ほんの数例を上げるだけでも、建物、食べ物、宿泊場所、言語などで数々の新しい経験をすることになります。このような様々な違いが自分に合っていると思える場合もあるでしょうし、イライラするばかりと思える場合もあるでしょう。このセクションでは旅の支度をする前に考えておかなければならないことにいくつか触れ、どのような心構えをしておけばいいのかを考えるにあたって参考にさせていただきたいと思います。

不満やトラブルへの対処

不満やトラブルはその場で話し合い、解決するようにしてください。日本に帰ってきてから HFH ジャパンスタッフに不満をぶつけるのでは遅すぎます。不満やトラブルは言葉の問題から生じる誤解が原因であることがほとんどです。

建築サイトと宿泊先の環境

簡素な住環境に備えておいてください。とくに現地のトイレは大変簡素なものです。皆さんにとって不満足なことでも、受け入れ側にとっては最善を尽くしています。トイレットペーパーがないところも多くあります。多少の不便を覚悟してご参加ください。

建築作業中のチームワーク

お互いのリズムに慣れ、建築作業が軌道に乗り出すまでには多少時間が必要です。言葉や習慣、価値観などが異なる人々が集まるわけですから、自分の考えを押し付けることは避けて下さい。また体力にも個人差がありますので、お互いに気を配るようにしてください。

贈り物

現地で働いている間、その地域と人々に対してもっと貢献をしたいと思うかもしれません。過去にも個々の家族に直接贈り物をしたグループがありました。善意でなされたことですが、このような行為はハビタット・フォー・ヒューマニティのプログラムの目的に反することになります。

HFH のやり方は依存体質から抜け出すということを中心としているのに、贈り物をすることで、他人に支援をしてもらうことに依存する体質を作ってしまうことが多いのです。

また地域に対して何か贈り物をしたいと思う人もいるでしょう。これも同様に、直接現地の家族に贈り物をするのは絶対に控えてください。贈り物をするなら、コミュニティの人すべてが享受できるように、地域全体に対してなされるべきだからです。そうすることによってどの家族も同様に価値のあるものだという断固としたメッセージを送

ることになります。例えば、コミュニティセンターへ本を寄贈する、バスケットボールや遊び場の遊具を寄贈するなどです。この内容についてはホストのアフィリエートと相談してください。あなたが正に家族が生活環境の改善をしていく上で、家族を啓発し支援していくキーとなるパートナーなのです。モノを与えるパートナーではなく、自立の支援をするパートナーになってください。

自立のための贈り物

チームを受け入れるハビタットのアフィリエートはその町や地方から貧困住宅をなくすという明確な使命をもっています。家を必要とする家族にもっと手を差し伸べるため、住宅建設を増やすためのボランティアや資金援助を提供してくれるパートナーが多数必要とされています。アフィリエートは住宅建設の資金を海外やその地域の寄付から得ています。ハビタット・フォー・ヒューマニティ・インターナショナルが、アフィリエートの創立後数年間は資金供与をしますが、アフィリエートは徐々に独自で資金調達する責任があり、それにしただがって、毎年資金供与は減額されます。したがって皆さんが、ホストのアフィリエートで住宅建設をさらに進める支援をしてくだされば、それはより多くの子供たちがきちんとした家で育つことができることを保障する一番の贈り物になるのです。また建築ツールの寄付も歓迎されます。

コミュニケーション

現地では、行き過ぎた愛情表現などを不適切な場でないようにしましょう。自分のチームと現地の文化に敬意を払いましょう。自分にとって正常であることでも、受入れ国では不快だと思われることもあるということを常に心に留めておきましょう。

また相手の言うことが理解しないまま生半可な返事をすることは避けてください。トラブルの原因になります。

振り返り

一日の始まりや終わりに全員が集まり、振り返りをする時間をもつようにしてください。

所有物を大事にする

コミュニティのゲストとして、GVプログラムの参加者はホストのアフィリエートやその他の建物や所有物を大切にしてください。参加者の皆さんは、自分たちが使うものはすべてアフィリエートの資産であるということを考えてください。滞在場所や仕事場は整理整頓をし、使ったものは元の場所にもどしてください。

安全

建築活動以外の時間に行動する際は周りの安全状況を考慮してください。GVプログラム参加者は一人で出かけたりしないで、常に二人以上またはグループで行動し、リーダーにどこに行くかを知らせてください。地域の安全性については現地スタッフに相談してください。

【大雨・台風が近づいてきたら】

- テレビやラジオで、台風情報や防災上の注意事項をよく聞くようにしましょう。
- 外出は出来るだけ控えるようにしましょう。
- 停電などに備えて、懐中電灯やラジオをあらかじめ手元に用意しておきましょう。
- ベランダにある植木鉢、物干しざおなど飛散の危険が高いものは、室内に取り込みましょう。
- がけ地付近の人は、大雨が続くと地盤がゆるみ、がけ崩れの起こるおそれがありますので、十分注意しましょう。
- 川の近くに住んでいる人は、川の水かさにご注意しましょう。

その他

- いつでもどこでも、自分の持ち物から目を離さないようにし、特にバスや交通機関や公共の場ではスリに注意してください。
- ハビタットはあなたの体験が心地よいものになることを願っています。自分の家や友人、家族、親、保護者の方々と連絡を取り合い、安心させてあげてください。
- 不測の事態が発生した際にはチームリーダーと現地スタッフに従ってください。

9. GV 医療保険

グローバルヴィレッジプログラムに参加される方は全員、ハビタット指定の保険に加入して頂くことになっています (Chubb Insurance)。以下はハビタット・フォー・ヒューマンティ・インターナショナル (以下 HFHI) 法務課が推薦し、1994年2月10日、HFHIの理事会が批准した方針に基づく保険補償範囲のご案内です。この加入必須保険は、包括的なリスク管理プログラムを確実なものにし、ハビタット・フォー・ヒューマンティのボランティア全てを保護するためのものです。

HFHI グローバルヴィレッジプログラムにおける建築活動を含む海外滞在期間中に発生した事故および病気に対する傷害・疾病治療費用保険は、参加者1人につき1日¥350×旅行日数の合計分を HFH ジャパンにお支払いいただきます。

(注)：これは必要条件のみの傷害・疫病保険をカバーするものであり、盗難等はカバーされません。よって各個人でも、A I U 保険やジェイアイ火災傷害保険などの海外旅行傷害保険に加入して渡航されることを強くお勧めします。

■ 保険補償期間

保険加入日数は、各チームの GV 実施期間となります。これはアフィリエイトでの建築プログラムの終了後、その訪問国で企画されるチームのレクリエーションプログラムの期間も含まれます。ただし、単独で、他のメンバーよりも長く現地に残る方の滞在日数は、当保険ではカバーされませんのでご了承ください。チームの GV 実施期間につきましては、各 GV チームリーダーを通じて担当コーディネーターにお問い合わせください。

■ 保険料のお支払い方法：

チームメンバーは、チームリーダーに保険料をお支払いください。チームリーダーは、チームの保険料の合計金額を HFH ジャパンへ振り込んでいただきます。HFH ジャパンの GV コーディネーターが責任を持って HFHI 本部へ、各チームの保険料を送金します。全てのグローバルヴィレッジチーム分の保険加入手続きは、HFHI 本部のグローバルヴィレッジ課が行います。

■ 保険の補償範囲

医療ケアが必要な事故または病気	\$ 250,000 (上限)
保険金請求最低額	なし
保険金お支払い額	100%
後遺傷害	\$ 250,000
救急医療避難	\$ 150,000
事故死&身体部切断	\$ 250,000
遺体処理費用	\$ 150,000
医療補助サービス	MEDEX

■ アシスタンスサービス

グローバルヴィレッジ参加者のためのアシスタンスサービスは休日祝日を問わず、毎日 24 時間ご利用いただけます。必要に応じて活用してください。

アシスタンスサービスの詳細は次のとおりです。

- 多言語対応の MEDEX 専門スタッフ (ただし日本語不可)
- 最寄りの最適な病院、クリニック等の紹介
- MEDEX プログラムの医療アドバイザー (内科医) によるカウンセリングサービス
医療介護の分析と、適性度の審査
- ご家族、掛かりつけの医師、勤務先などへの連絡取り付け補助
- 医療サービスのモニタリング
- Chubb Insurance 社と医師との間のコーディネートサービス

- 通訳サービスならびに現地通訳の紹介
- 病院や他の医療機関に入院・通院の際、保険補償の対象であるかどうかの確認
- 保険金請求に関する特別補助
- 緊急資金送金
- 大使館、領事館への必要手続き調整
- 必要に応じて、緊急移送を手配、管理、コーディネート
- 遺体処理（本国送還など）の手配、管理、コーディネート
- 次のような緊急時の理由により被保険者の出国後、海外旅行計画に変更が生じた場合の旅行諸手続き代行
- 旅行同伴者の帰国手続き補助
- 被保険者、被保険者の親族が死亡されたときまたは危篤になられたときの渡航手続き
- 事故・病気、および旅行中に発生した緊急事態等を理由とするチケット変更手続き
- 破損車および、携行品等の返却手続き
- 法的アドバイスが必要な場合のサービス手配
- 保釈手続き、または他の法的書類のコーディネート補助
- パスポートを含む旅行関係書類を紛失または盗難にあったときの再発行手続きの代行
- 付随的な援助および旅行に関連する諸サービスの無料提供

ご契約上の注意：

この保険には荷物・携行品または旅行予約取り消しに対する保険は含まれておりません。これらの保険サービスに関しては、各グループでお取引のある旅行代理店にお問い合わせください。

この保険では、以下のような原因により生じた損害は補償の対象外となります。
被保険者の故意によるケガ、正気時の自殺、または自殺未遂、妊娠、出産または流産；飛行機への乗機中、操縦中または操縦訓練中、機内での勤務中に発生した事故。処方された以外の医薬品または飲酒の影響で長引いたケガ・病気は補償されません。犯罪を強行または試行した際に発生したケガ・病気も補償対象外となります。

旅行出発前の既往症または持病のための疾病治療費用に対する補償額は、最高 **50,000** ドル（米ドル）までとします。旅行出発前の既往症または持病とは、保険適応期間以前にかかった、もしくは症状が表れていたケガ・病気を意味します。また医薬品や治療がすでに処方されているケガ・病気も意味します。

10. 怪我・病気の対応

参加者が怪我をした、または病気になった



本人やその他の者がチームリーダー、および現場責任者に即時に報告

小さな怪我・病気



現場にて処置



現場責任者および/またはチームリーダーが怪我・病気を記録し、互いに報告

体調が回復しなかったり、怪我の状態がひどくなったりした場合は、医療サービスに連絡する。または、大きな怪我/病気の場合の手順に従って対応する。



大きな怪我・病気



1. 現場責任者または/およびチームリーダーが怪我人/病人を病院に連れて行く。必要であれば、救急車を呼ぶ。
2. 参加者の「緊急連絡先」と「保険請求用紙」(Accident Claim Form)を病院に持参する。未成年者が病院に行く場合は、「治療許可書」(Parental Authorization for Treatment of a Minor Child)のコピーも持参する。
3. 未成年者の場合は、「治療許可書」に明記されている責任者も病院に同行する。
4. 同時に、医療サービス (MEDEX) に連絡する。



現場責任者または/およびチームリーダーが、治療を行う現地医師に怪我/病気の原因などを説明する。



1. チームリーダーが怪我人/病人の緊急連絡先に連絡し、怪我/病気の状況と現地医師や医療サービスからの説明を伝える。
2. チームリーダーが受入国 GV コーディネーターおよび/またはナショナル・オフィスに連絡する。
3. もしくは、現地アフィリエイトのコーディネーターがナショナル・オフィスおよび/または受入国/派遣国 GV コーディネーターに報告する。



説明を受けた通りの治療を行う。必要であれば、医療搬送を行う。



深刻な怪我/病気の場合には、アジア太平洋エリアオフィスに報告する。



1. チームリーダーは引き続き、緊急連絡先やナショナル・オフィス、受入国/派遣国 GV コーディネーターと連絡をとりあう。
2. 現地アフィリエイトコーディネーターは、引き続きナショナル・オフィスと連絡をとりあう。



1. 現場責任者および/またはチームリーダーは、怪我・病気の状況を記録し、互いに報告する。
2. 直ちに保険請求用紙に記入し、契約保険会社に送付する。(控えとして、用紙のコピーをとり保管する。)

MEDEX 医療サービス専用 フリーダイヤル

渡航先でMEDEX医療サービスを受ける場合、下記リストより該当のフリーダイヤルへ連絡してください。訪問国がリストにない場合などはアメリカ本社の番号 **1-410-453-6330** へコレクトコールで電話してください。

Policy Number: 6404-54-47 // Medex Code: CHB

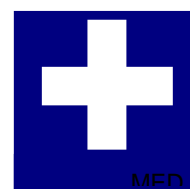
Australia and Tasmania	1-800-127-907
Austria	0-800-29-5810
Belgium	0800-1-7759
Brazil	0800-891-2734
China (northern regions)	108888-800-527-0218
China (southern regions)	10811-800-527-0218
Dominican Republic	1-888-567-0977
Egypt (inside Cairo)	510-0200-877-569-4151
Egypt (outside of Cairo)	02-510-0200-877-569-4151
Finland	0800-114402
France and Monaco	0800-90-8505
Germany	0800 1 811401
Greece	00-800-4412-8821
Hong Kong	800-96-4421
Indonesia	001-803-1471-0621
Israel	1-800-941-0172
Italy, Vatican City and San Marino	800-877-204
Japan	00531-11-4065
Mexico	001-800-101-0061
Nepal	Collect 1410-453-6330
Netherlands	0800-022-8662
New Zealand	0800-44-4053 and Collect 14104536330
Papua New Guinea	(675)3235626/3234357/6835227/6831818
Philippines	1-800-1-111-0503
Portugal	800-84-4266
Republic of Ireland (Eire)	1-800-409-529
Republic of South Africa	0800-9-92379
Singapore	800-1100-452
South Korea	00798-1-1-004-7101

Spain and Majorca	900-98-4467
Switzerland and Liechtenstein	0800-55-6029
Thailand	1410-453-6330 / 001-800-11-471-0661
Turkey	00-800-4491-4834
UK & N. Ireland, Isle of Jersey and Isle of Man	0800-252-074
United States, Canada, Puerto Rico, US Virgin Islands, Bermuda	1-800-527-0218

NOTES:

The toll free **JAPAN** Line is only available from touchtone phones (including payphones) equipped for International Dialing

If call from **MEXICO** on a payphone, the payphone must be a La Datel Payphone



保険請求手続き（怪我/病気の発生から保険金受け取りまで）

1. 帰国後、保険金請求者は保険請求用紙に記載されている保険会社の下記住所へ、用紙と各領収書を郵送する（書類一式のコピーをとっておく）。保険金の請求は、事故/ケガ/病気が発生した日から 90 日以内に行う。
2. 念のため、保険請求用紙のコピーを HFH ジャパンの担当 GV コーディネーターへ FAX、または郵送する。（FAX : 03-6304-2544）
3. 請求内容の審査後、Chubb Insurance (契約保険会社) から請求者の指定銀行口座に、適宜請求金額が振り込まれる。

ご注意： 保険の請求金額が少額と思われる場合でも、診察の結果が深刻なものでないとされたり、その時それ以上の医療処置が必要ないと診断された場合でも、後に有効な保険金請求ができるように全ての手続きをすませるようお勧めします。

書類郵送先： **Habitat Claims Unit**
c/o Chubb Group
600 Independence Pkwy,
Chesapeake, VA 23327-4710 USA



MEDEX ACCIDENT CLAIM FORM

Mail directly to:
 Habitat Claims Unit
 c/o Chubb Group
 600 Independence Pkwy,
 Chesapeake, VA 23327-4710
 USA

PLEASE NOTE THAT THIS COVERAGE IS EXCESS OF ANY OTHER MEDICAL INSURANCE THAT YOU MAY HAVE WITH ANY OTHER INSURANCE COMPANY. IF YOU HAVE OTHER COVERAGE, PLEASE SEND YOUR CLAIM TO THAT INSURANCE COMPANY FIRST.

Instructions:

1. Complete both sides of the claim form – please PRINT clearly or type.
2. Attach itemized bills (retain a copy)
3. If you have previously submitted this claim to your other insurance company, attach correspondence from that insurance company.
4. Retain a copy of this completed form for your records
5. Team Leader must sign this form and retain a copy
6. Team member submits the claim to the insurance company
7. Team Leaders send a copy of the completed claim form to your Sending Coordinator and Area Volunteer Manager

Full name of injured person (first/given name, last/family name)	Passport # and by which country issued
Full address	Telephone number (including country code)
Host Affiliate Name	Physician or Surgeon Name
Host Affiliate Address	Physician's Address
Policy Number: 6404-54-47	Physician's Phone (including country code)
When were you injured? Date: _____ Time: _____ am/pm?	If Hospitalized, Name of Hospital
When did you cease work?	Hospital Address
If Totally Disabled, give dates From: _____ To: _____	Hospital Confinement Dates From: _____ To: _____
When did or will you resume any part of your work? Date: _____	Please list all other insurance: Insurance Company: Policy Number: Effective Date:
Describe in detail how and where accident occurred: (attach separate sheet if necessary)	Describe Injuries:

Your Bank Account details where reimbursements can be deposited	
(If you prefer receiving a check, please leave it blank)	
Bank Name	
Branch:	
Account Name:	
Account no.	
Account Address:	
Routing/ Swift No.	

I hereby authorize any hospital, physician, or other person who has attended me or examined me to furnish to Federal Insurance Company, or its representatives, all information with respect to any illness or injury, medical history, consultation, prescriptions or treatment, and copies of all hospital or medical records. A Photostat copy of this authorization shall be considered as effective and valid as the original.

Signature of Volunteer

Date

Printed name of Team Leader

Signature of Team Leader

Date

Physician's Report

(To be completed by attending physician, excluding emergency room treatment)

Patient's Name: first/given name, last/family name	
Nature of Injury (Describe complications, if any):	
Describe any other disease or infirmity affecting present condition:	
Give Dates of Treatments:	Office: Home: Hospital:
Is patient still under your care for this condition?	Yes: _____ No: _____
Contemplated Discharge Date:	If already discharged, give date:
Amount of your bill for services to date: (state country of currency):	
Was your patient disabled? <input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> No	
If yes, total or partial?	
Able to return to work on (date):	Resumed work on (date):
Physician's Printed Name	Physician's Signature
Physician's Address	
Physician's Phone number (include country code):	

請求用紙・日本語訳：記入は英語の用紙に英語でお願いします！！

ACCIDENT CLAIM FORM (保険金請求用紙)

この保険は、他の保険会社の補償額を超えた分について補償するものです。他の保険に加入している場合は、最初にその保険会社の請求手続きを行ってください。

1. 請求用紙の両面の、必要事項を全て記入してください。(活字体で記入、もしくはタイプしてください。)
2. 内訳ごとの領収書を添付してください。(控えとしてコピーをとっておいてください。)
3. 他の保険会社に、同内容の請求を既に行っている場合、その保険会社から受け取った書類の控えを添付してください。
4. この保険請求用紙のコピーを控えとしてとっておいてください。
5. チームリーダーは、この請求用紙に署名をし、領収書類も含めてコピーを一式とっておいてください。
6. 請求者は保険会社に必要書類を直接郵送してください。
7. チームリーダーはこの用紙のコピーを **HFH ジャパン**の担当 **GV コーディネーター**に **FAX**、または郵送してください。

Full name of injured person (first/given name, last/family name) 怪我、病気をした方の氏名	Passport # and by which country issued パスポート番号、発行国
Full address 住所	Telephone number (including country code) 電話番号 (国番号含)
Host Affiliate Name 受入れアフィリエイト名	Physician or Surgeon Name 医師名
Host Affiliate Address アフィリエイト住所	Physician's Address 医師の住所
契約番号: 6404-54-47	Physician's Phone (including country code) 医師の電話番号 (国番号含)
When were you injured? いつ怪我/病気をしましたか? 日付 時間	If Hospitalized, Name of Hospital 入院した場合、病院名
When did you cease work? いつボランティアの作業を止めましたか? 日付 時間 午前/午後	Hospital Address 病院住所
If Totally Disabled, give dates 完全に動けなくなった場合の期間 From: いつから To: いつまで	Hospital Confinement Dates 入院期間 From: いつから To: いつまで
When did or will you resume any part of your work? いつ作業を再開しましたか?もしくは、再開しますか? Date: 日付	Please list all other insurance: : 他に加入している保険 Insurance Company: : 保険会社 Policy Number : : 契約番号 Effective Date : 有効日付
Describe in detail how and where accident occurred: (attach separate sheet if necessary) どのように、どこで、事故またはその状況はおこりましたか?詳しく説明してください。(必要であれば別紙を添付してください。)	Describe Injuries: 怪我、病気の症状を説明してください。

Your Bank Account details where reimbursements can be deposited 払い戻しを受ける銀行口座 (If you prefer receiving a check, please leave it blank) 小切手での支払を希望される場合はブランクにしてください	
Bank Name	銀行名 (英語名)
Branch:	支店名
Account Name:	口座名義
Account no.	口座番号
Account Address:	口座のある銀行の住所
Routing/ Swift No.	海外から送金を受ける際に必要になる銀行番号 (銀行にお問い合わせください)

I hereby authorize any hospital, physician, or other person who has attended me or examined me to furnish to Federal Insurance Company, or its representatives, all information with respect to any illness or injury, medical history, consultation, prescriptions or treatment, and copies of all hospital or medical records. A Photostat copy of this authorization shall be considered as effective and valid as the original.

私はここに、私の診察や治療をした病院、医師、その他の人物に対し、フェデラル保険会社とその代表へ、病気、怪我、病歴、診察、処方箋や治療内容に関する全ての情報と全ての病院や医療記録の複写を提供する権限を認めます。

Signature of Volunteer (ボランティアの署名) _____ Date (日付)

Printed name of Team Leader (活字体のチームリーダー名)

Signature of Team Leader (チームリーダーの署名) _____ Date (日付)

Physician's Report (医師の報告書)

(To be completed by attending physician, excluding emergency room treatment)

(緊急治療室での処置を除き、診察した医師により記入)

Patient's Name: first/given name, last/family name : 患者名	
Nature of Injury (Describe complications, if any) : 怪我、病気の症状 (合併症がある場合についても説明)	
Describe any other disease or infirmity affecting present condition: 現在の状態に影響する病気や疾病が見られる場合の説明	
Give Dates of Treatments: 治療日 Office : 診療所 Home: : 自宅 Hospital : 病院	
Is patient still under your care for this condition? 患者は未だあなたの治療を受ける必要がありますか? Yes No	
Contemplated Discharge Date: 予定治療終了日	f already discharged, give date: 既に治療が終了している場合、治療終了日
Amount of your bill for services to date (state country of currency): これまでの治療にかかった費用 (通貨)	
Was your patient disabled? 患者は動くことができませんでしたか? Yes No If yes, total or partial? そうであれば、完全に動くことができませんでしたか?それとも、部分的にですか? Able to return to work on (date): 作業を再開してもよい日 Resumed work on (date): 作業開始日	
Physician's Printed Name 活字体の医師名	Physician's Signature 医師の署名
Physician's Address 医師の住所	
Physician's Phone number (include country code): 医師の電話番号 (国番号含む)	

11. 健康管理について

HFHI は健康についての特別なアドバイスをする資格を持っていません。また薬や予防接種をお勧めする立場にもありません。グローバルヴィレッジプログラムへの参加者に対して、いかなる医療的な参加条件の提示もできません。

しかしながら グローバルヴィレッジのチームメンバーが、ハビタットの受入れ国に渡航するのに必要とされる予防接種と薬に関して疑問を持つのは当然のことです。

このような疑問に対し、私たちはいつもグローバルヴィレッジのチームメンバーに、自分のかかりつけの医師だけでなく下記のウェブサイトで現地の状況を確認することをお勧めしています。そして参加するにあたり、どのような医療的な予防処置をとるのかは各自で決めていただくことになっています。

渡航に関する健康アドバイスが記載されているウェブサイト:

- **Center for Disease Control Travelers' Health**
www.cdc.gov/travel/ (英語のみ)
- **World Health Organization (WHO)**
www.who.int/ith/ (英語のみ)
- 大阪検疫所
<http://www.forth.go.jp/keneki/osaka/>
- 横浜検疫所
<http://www.forth.go.jp/keneki/yokohama/top.html>
- 東京検疫所
<http://www.forth.go.jp/keneki/tokyo/>
- 厚生労働省検疫所、海外渡航者のための感染症情報
http://www.forth.go.jp/tourist/useful/02_tokou_yobou.html

健康管理に関するガイドライン例:

ハビタットでも、健康管理に関する一般的な注意事項についてはグローバルヴィレッジチームにご案内しています。

- ・ 食事をする前には念入りに手を洗うこと。手を洗える設備が備えられている場所をメンバーに伝えておく。
- ・ 現地の水道水が飲用に適さない場合は、ミネラルウォーターが提供されることをメンバーに伝えること。歯を磨く際もミネラルウォーターを利用した方がいいのか確認する。氷は精製水でできているか確認する。チームが食事をするレストランは精製水を使用しているか確認する。
- ・ 飲用する前に浄化処理がなされていない水は バクテリアや寄生虫を殺すために5分間沸騰させるべきである。
- ・ 水の汚染の問題は食べ物ばかりでなく風呂に入ったり、シャワーを浴びたりするときにも当てはまる。実際に河川で水浴びをしたり泳いだりする場合には その水が汚染されているかもしれないので徹底的に全身を洗い 後で切り傷や腫れた部分を消毒する必要があることをメンバーに注意すること。
- ・ 各自が現地の店で買った果物や野菜を食べる前に殺菌処理された水で洗う必要があるかを確認する。果物や野菜類は皮をむくため、洗って料理されていれば通常は安全である。
- ・ 通りで露店商人が売っている屋台の料理を食べるのは避けるべきか、食べても問題ないのかを確認する。
- ・ 現地のトイレ施設を使用するのに抵抗があるメンバーは、トイレを使わないようにする為十分な水分を取らない場合がある。その結果、脱水症状を起こすかもしれないということに注意する。
- ・ 涼しく湿気のある気候では低体温症となる危険性があったり、受入れ国では常に過度の日焼けや熱中症および日射病にかかる危険性がある。建築現場では日焼け止めを塗り、帽子をかぶり、バンダナを身につけ、重ね着をするなどして衣服を乾いた状態に保つように心がけるようメンバーにアドバイスをする。また長期間建築現場で働くことは、多くの外国からのボランティアチームにとって慣れない作業であるので、意識してたびたび休憩を取るようにすること。

- 直射日光の下に長時間いると、熱射病が起こることがある。自覚症状としては、急に疲労感を覚える、吐き気、嘔吐、めまい、頭痛などがある。また、自覚がないまま高熱(40-41℃)になったり、進行すると意識がなくなってしまう事もある。処置としては、木陰等涼しいところに移し、水でぬらしたタオルで全身を拭き体温を 39℃まで下げる(下げすぎはよくない)。塩分のある水を大量に与える。
- 十分な水分を取らないといったことから生じる脱水症状が、受入れ国でボランティアが一番なりやすい症状である。脱水症状は疲労感、活力の欠如、頭痛、めまい、排尿の少なさ、色の混じった排尿、発汗の少なさ、そして時には胃痙攣やトイレに行くことができないといった症状がでる。治療としては日陰で休み、水分補給(塩分補給)することである。
- 小動物は可愛らしくて抱きしめたくなるかもしれないが、蚤やさらにもっと悪い寄生虫をもっているおそれがあるので、むやみに触らない。また、野犬や野生動物に噛まれた場合、狂犬病になる可能性があるので近づかないように努める。

12. 渡航先の情勢について

次に挙げる渡航先の情勢に関する情報源を定期的に確認することをお勧めします。どんな海外旅行にも危険はつきものですし、GV 参加者はこれらの危険が起こる可能性を常に頭に置いておかなければなりません。しかし、より多く情報を得、調べた上での決断が旅行中は不可欠となります。HFH ジャパンは、欧米人を含む GV チームを、米国が渡航勧告を発行した、いかなる国にも派遣しません。また、こうした渡航勧告や注意事項は、常に変更されるという点にも注意して下さい。

1: 政府系ウェブサイト:

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp/>

アメリカ国務省 <http://www.state.gov/travelandbusiness/>

イギリスおよび海外連邦事務所 www.fco.gov.uk/

オーストラリア外務貿易省 <http://www.dfat.gov.au/>

カナダ外務国際貿易省 http://www.voyage.gc.ca/countries_pays/menu-eng.asp

ニュージーランド外務貿易省 www.mft.govt.nz/travel/

2: 旅行に関するのアドバイス:

下記のウェブサイトでは、一般的な旅行に関するアドバイスや情報を得ることができます。

(日本語サイト)

地球の歩き方: <http://www.arukikata.co.jp/>

旅さき情報: <http://www.tabifan.com/>

(英語サイト)

Intrepid Travel: www.intrepidtravel.com

Lonely Planet : <http://www.lonelyplanet.com>

Fodor's Travel Online: www.fodors.com/

Travel Advice: www.travel-advice.net/

Frommers Travel Guide: www.frommers.com/

National Geographic: www.nationalgeographic.com/

Center for Disease Control: Geographic Health Recommendations

<http://www.cdc.gov/travel/index.htm>

CIA World Fact book: facts and figures about countries worldwide

<https://www.cia.gov/library/publications/the-world-factbook/index.html>

CNN Worldwide Weather Forecasts: current weather

<http://www.cnn.com/weather>

Expeditors of Visas and Passports

<http://www.traveldocs.com>

Travel Health Online

<https://www.tripprep.com/scripts/main/default.asp>

International Dialing Codes

<http://www.kropla.com/dialcode.htm>

The Universal Currency Converter™: check current exchange rates

<http://www.xe.net/ucc>

World Electric Guide: tips for traveling with electric items

<http://www.kropla.com/electric.htm>

ありがとうございました!

このオリエンテーションハンドブックに目を通す時間を割いて下さり、ありがとうございます。ハンドブックを読むことは、皆さんだけでなくチームや受入れ国にとってとても有益で重要なことです。GVを成功させるためには、準備をリーダー任せにしないようにしてください。

出発前には自分の家族にも準備をしてもらってください。家族は、安全性に関して納得しておかないといけませんし、緊急時にはどのように連絡を取ればよいか知っておかなくてはなりません。またご家族はなぜ皆さんがGVに参加するのかをよく理解しておく必要があります。それらの準備を怠ると、心配になった保護者からの電話で、HFHジャパンのコーディネーターが真夜中に起こされることになってしまいます。

ハビタットは、皆さんの参加するGVが、実りあるものになることを心より願っていますし、皆さんが世界中であらゆる人々と、ハビタットならではのパートナーシップを結ぶことができると信じています。

皆さんや次のGV参加者の方々のため、そして、このプログラムをよりよいものへ改善し続けるために、GVについてのコメントや提案をお待ちしています！